

学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京 都 市 大 塚) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

	活動の基本目標(指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>あいさつ、手洗い、うがい</p> <p>トイレの指導、出欠の確認</p> <p>学童生活の中での健康管理指導</p> <p>持ち物の管理指導</p> <p>おやつ提供</p> <p>整理整頓</p> <p>避難訓練・防犯訓練</p>	<p>・「おはようございます」「ただいま」また、来館者への「こんにちは」「さようなら」などの基本的なあいさつは、都度の声掛け指導の効果により、ほとんどの学童ができるようになった。</p> <p>手洗い、マスクの着用は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、職員の声かけ・見守りにより習慣づいている。</p> <p>・トイレのスリッパの脱ぎ方・そろえ方指導は今後も繰り返し、継続していく。</p> <p>・居残りなど下校が遅い時や、学校の町別集会時、また日常の出欠管理は、学校や家庭と密に連絡を取りながら、確認できた。</p> <p>・連絡帳やメール及び送迎時の対面相談を通じて、各家庭の保護者の方と連絡を取り合い、児童たちの様子を共有することができた。</p> <p>・気温や体調に合わせて自分自身で衣服を着替えたり、調整したりするように意識付けた。</p> <p>・体調に変化があった時には、職員にすぐに伝えるようにすることで自分の健康管理を促した。</p> <p>・決まった子どもが頻繁に忘れ物をする。また、学童生活に慣れてきた頃に連絡帳やタオル等の忘れ物が増え、繰り返し指導を行った。また、事前に破棄告知をして、期日が済んだものから破棄していくなど今後も、子ども・保護者へ必要物の確認・管理の徹底を習慣づけられるように工夫していく。</p> <p>・布巾等の除菌と消毒を徹底し感染症の拡大を防いだ。バラエティー豊かなおやつを提供できた。</p> <p>・アレルギーを持った児童がいたので、保護者との連携を取り自宅よりおやつを持ってきてもらった。</p> <p>・使った物の片付けは、各自あそびの後に、最後までしっかりと出来るように繰り返し指導した。継続した一致体制のもと、引き続き指導が必要。</p> <p>・大塚消防出張所、山科警察署の方と連携を取り、よりよい訓練を実施することができた。</p> <p>地震、火災、風水害などの災害時、不審者への対応、非常食についての学習など様々な訓練を実施することができた。</p>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>お誕生会</p> <p>(2) 手づくり工作</p> <p>(3) みんなあそび</p> <p>(4) あそびの教室</p> <p>(5) 交通安全教室・その他山科警察署との連携</p> <p>(7) 本のポップコンクール</p> <p>(8) 京都グラフィー写真コンテスト</p> <p>(9) 伝統工芸体験</p> <p>大塚こども食堂(昼食提供)</p> <p>大塚モーニング食堂(朝食提供)</p> <p>夏のみんなあそび スタッフ会議</p> <p>ハロウィンパレード2022 高学年スタッフ会議</p> <p>クリスマスパーティー2022 高学年スタッフ会議</p> <p>大掃除</p> <p>1年間の振り返りDVD鑑賞</p>	<p>・学年が上がるとともに前に出てお祝いされることを恥ずかしがる姿もあり、誕生会には、写真付き記念ホルダーを渡して、インタビュー形式で抱負を語ってもらうなど、仲間にお祝いをしてもらう特別な日と位置づけた。</p> <p>・子どもたちの集中力・創造力や器用さを身に着けることができた。子どもたちの意欲や個性がひきだせた。</p> <p>・普段一緒に遊ぶメンバーと異なる異年齢集団の中であそぶことにより、連帯感や仲間意識が芽生えた。</p> <p>・あそびのルールの再確認や様々なゲーム、工作、あそびを体験させることができた。</p> <p>・児童が理解しやすいように交通標識をパネルにし、絵合わせ、しんけいすいじゃくゲームなど、あそび感覚要素を取り入れて交通安全を学んだ。</p> <p>・春の交通安全週間に伴い、山科警察署と連携して、「交通安全横断幕」絵画の作成や秋の交通安全週間においては、「妖怪コンテスト」への絵画出品などを実施した。今年度の取組を評価されて、京都府内では、児童館としては初となる交通安全功労児童等表彰に選出された。今後も、さらに連携を密にしていきたい。</p> <p>・子どもたちの才能が開花。「京都市教育長賞」を受賞した。今後も秘めた才能を発揮できる場にチャレンジしたい。</p> <p>・写真コンクールに出品する作品講習会を受講後、テーマ「ボーダー」で作品を提出した。才能を発揮できる場にチャレンジしたい。</p> <p>・彫金体験として、金箔を使用して、飾り盾の作成をした。</p> <p>・昼食を提供することで、就労支援・子育て支援家庭保護者の負担軽減となった。</p> <p>・子どもたちにとってもフードロスを学べたり、仲間と楽しく食事ができるよい機会となった。</p> <p>・朝食を摂らず来館する児童からの声を受け、朝食を提供し、三食きちんと摂る環境づくりの取り組みを行った。参加する子どもたちは朝食をお友だちと食べることがとても楽しみな様子であった。</p> <p>・館庭にて、水鉄砲遊びや色水あそび、寒天で感触遊びなどをして季節に合った遊びを楽しむことができた。</p> <p>事故のないように、安全に十分配慮して遊びを展開することができた。</p> <p>・昨年度から、従来のパーティー形式をやめて、仮装しながら小学校区内をパレードした。手製プレゼントの配布やクイズ大会なども途中で盛り込み、地域と連携しながらジュニアリーダーの育成にも努めた。</p> <p>・司会進行やゲームコーナーでのスタッフ参加などを通して、参加型の楽しい企画を満喫していた。</p> <p>・全学年が協力して各部屋に分かれて大掃除をすることができた。</p> <p>・1年間の振り返るスライドショームービーを観ることで、自分たちの成長を感じることができた。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>学童だより(わんぱく通信)</p> <p>保護者連絡会</p> <p>事前登録説明会・入会説明会</p> <p>連絡帳の活用・電話連絡・その他のおたより</p> <p>日常的な小学校との連携</p> <p>地域との連携</p> <p>関係機関との連携</p> <p>・京都市山科区役所 保健福祉センター</p> <p>・子どもはぐくみ室子育て相談係</p> <p>・ヴェインテ</p> <p>・にこの森保育園</p> <p>・ロマンの森「託児所」</p> <p>・若草保育園(洛和会)</p> <p>・てくてく、小山児童園(洛和会)</p> <p>・山科醍醐地区高等学校(2)</p> <p>・山科醍醐地区中学校(10)</p> <p>・京都市立東支援総合学校</p> <p>・京都市立大塚小学校 など</p>	<p>・毎月の行事予定や子どもたちの様子を伝えることができた。</p> <p>・紙面でおたよりを渡すだけでなく、ホームページにも毎回の行事ごとに「ブログ」として掲載し、広報活動に努めた。</p> <p>・夏休み前と冬休み前の年間2回開催することができた。それぞれに児童たちの様子の写真をスライドショーで見ていただくことで安心・安全な環境下で信頼される児童館として、保護者の方々との連携を強化した。</p> <p>・3月15日と3月18日昼・晩と3回に分けて実施した。特にICT化の導入など、大幅な変更があるため、京都市からの資料及びスライドを使用しながら説明した。</p> <p>・子どもたちの日々の様子で気になることや事故や怪我のあった際には速やかにお迎えに来られた際に保護者に伝えたり、状況によっては電話連絡をしたり、軽度の怪我であれば連絡帳に記入し、保護者との連携を図ることができた。次年度からは、WEBさくらにて、アプリを活用する。</p> <p>・自由参観や運動会への参観などを通して、子どもたちの小学校での様子を見ることができた。</p> <p>・配慮や気になる児童については学校の校長、担任等に相談し話し合う時間が持て、ケース検討会議においては、校長をはじめ担任の先生を含めて、5名の先生の参加を得ることができた。</p> <p>・民生協力委員会に定期的に参加することでより連携を図ることができた。</p> <p>・大塚自治連合会の会長とも頻繁に連携をとり合い、地域の状況把握や広報活動に役立てた。</p> <p>・ネットワーク会議として、「にこの森保育園」とも連携して、様々な取組を実施できた。</p> <p>・各関係10機関との連携を強化し、館長を中心として、協議や相談しやすい地域連携を強化した。</p>

(令和4) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市大塚) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人			
(1) 避難訓練	12	225	159	93	22	5	0	8	1	0	0	0	0	513	災害時や不審者への対応について訓練を行った。 大塚消防出張所などの団体と連携して消火訓練・消防車見学会を行った。
(2) 1年生を迎える会	1	39	29	20	7	2	0	0	0	0	0	0	0	97	4月に宝探しゲームの遊びを、展開した。 上級生から歓迎を受け、手づくりプレゼントも進呈。
(2) 誕生会	12	416	284	164	42	12	0	0	0	0	0	0	0	918	毎月1回実施。みんなで、毎月の誕生者のお祝いをして、成長を共に分かちあう機会とした。
(2) 交通安全教室	1	39	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	山科警察署と連携し、おまわりさんの日（6月17日）に交通安全教室を実施した。
(2) 交通安全週間山科警察署との連携事業	2	0	4	12	10	0	0	0	0	0	0	0	1	27	春：交通安全横断幕の制作（お披露目会も実施）、秋：妖怪コンテスト絵画の出品（NHKテレビ放映）
(2) 夏のみんなあそび	1	19	8	10	4	1	0	0	0	0	1	0	0	43	館庭で色水あそびや水鉄砲あそび、寒天で感触遊びなどをして、楽しんだ。
(2) わくわく夏まつり スタッフ会議	3			8	4	1								13	高学年スタッフとして季節に応じた夏祭りを、企画の段階から参画し、ジュニアリーダーの育成に繋げることを目標にした。
(2) 本のポップコンクール	3	10	4	8	10	1								33	本の虫プロジェクト「第4回本のポップコンクール」に応募するために、作品づくりに取り組み、京都市教育長賞を受賞した。
(2) 大塚わくわくランチ（こども食堂）	12	81	99	46	30	3		4						263	月1回昼食の提供をする。食育やフードロスについて学ぶ機会にもなった。
(2) 大塚モーニング食堂（子ども食堂）	12	23	15	11	25									74	月1回朝食（パンやスープなど）の提供をする。
(2) クリスマスパティー2022 スタッフ会議	6			30		5			1					36	高学年スタッフとして12月、季節に応じたクリスマスパーティーの開催に向けた企画を、計画段階から参画させてジュニアリーダーの育成に繋げる。
(2) 大掃除	1	24	15	12	1	1							5	58	役割分担し、高学年がリーダーとなって児童館の清掃を行う。
(2) あそびの教室	10	114	66	13	7	1		2						203	運動遊びやゲーム、工作など様々なあそびを楽しむ。また、ルールの再確認を行う。
(3) 保護者連絡会	2	21	10	2										33	新1年生の保護者を対象に、夏季休暇中及び冬期休暇中の生活の流れ、約束ごと等を伝える場とした。
(3) 学童クラブ（登録事前準備説明会）	3	41	20	4		1								66	令和5年度学童クラブ利用保護者（新1年生及び継続者）に向けて、令和5年度学童クラブICT化に伴う事前登録事前説明を実施した。
(3) 入会説明会	3	41	20	4		1								66	新1年生の保護者を対象に令和5年度の入会説明を3回行い、周知を図った。動画等を活用しながら、5年度運営方針についても説明を行った。
(3) 学童クラブだより発行	12	41	20	4		1								66	おたより配布及びホームページへのUPで次月の予定や子どもたちの様子を伝えた。
(2) 1年間の振り返りDVD鑑賞	1	20	8	4		1								33	新年度スタート前に、学童クラブの1年間の振り返るスライドショーを鑑賞させ、思い出作りに繋げた。
(2) 学童クラブお楽しみ会 （謎解きデラックスリターンズ）	1	34	25	12	1	1	0	7	0	0	0	0	0	80	「鬼からの挑戦状」と命名して、動画作成から取り組んだ。昨年度からの物語に連動した鬼からの挑戦状に対して、グループに別れた学童が次々に謎に挑戦し、得点争いをして大いに盛り上がった。
(2) 学童クラブ児童 利用者満足度調査アンケート	2	83	54	31	14	11	0	0	0	0	0	0	0	193	前後期に1回づつ、児童館・学童クラブ事業利用者アンケート（児童用）を実施している。また、別途、大型館行事開催のたびに、毎回終了後、感想など含めた利用者満足度調査のアンケートを実施した。
(2) 地域実践コーナー水やり	10			40	4	5								193	高学年の取り組みとして、地域実践コーナー（茶園）作物への水やりや収穫手伝いを手伝った。
(2) めだか水槽掃除	15			50	4	5								59	高学年の取り組みとして、毎土曜日を基本として、水槽の掃除と水換えを手伝った。
(2) 東支援学校乳幼児コーナー農園雑草抜き	1			14	5	1								20	高学年の取り組みとして連携している東支援総合学校農園の雑草抜きを手伝った。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること